

1時間目
5月8日(水)
全校朝会

●今日の話●

「リフレーミング」

ある枠組み(フレーム)で捉えられている物事を、枠組みを外して違う枠組みで見てみることに。

《例：リフレーミング前》

「人からよく

あまえんぼうだね、

と言われる…。」

《例：リフレーミング後》

「それは

人にかわいがられる

ってことだよ……。」

《みんなで考えるリフレーミング①》

「人からよく

あきっぽいね、

と言われる…。」

《リフレーミングできた？①》

「それは

好奇心旺盛

ってことだよ……。」

《みんなで考えるリフレーミング②》

「人からよく

うるさい！

と言われる…。」

《リフレーミングできた？②》

「それは

明るく活発

ってことだよ……。」

《みんなで考えるリフレーミング③》

「人からよく

おこりっぽい

と言われる…。」

《リフレーミングできた？③》

「それは

感受性が豊か

ってことだよ……。」

《みんなで考えるリフレーミング④》

「人からよく

いいかげん

と言われる…。」

《リフレーミングできた？④》

「それは

おおらかだ

ってことだよ……。」

「スヌーピー」の話をここで一つ



おい、『ピッグペン』！
お母さんが帰ってお風呂に入れって！



わかった！
すぐ行く…

??? きみは
お風呂ぎらいかと思ってた…



違うよ…お風呂好きだよ…



問題は汚れるほうが
もっと好きだってこと！

「悟無好嫌」(さとればこうおなし)

どんなことにも「先入観」を持たず、あるがままの姿を認めることができれば好き嫌いがなくなる、という意味。

チャーリーブラウンは、いつも汚れているピッグペンに対し「お風呂が嫌い」という先入観を持っていましたが、実は「お風呂に入るのも好き」という新しい一面を発見しました。

《宿題リフレーミング》

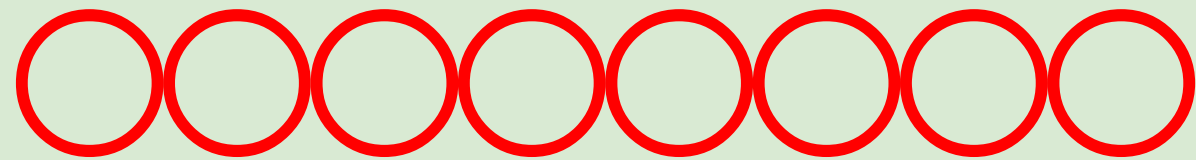
「他人のことを

気持ち悪い(キモい)

と言ってる友達に……。」

《宿題リフレーミング》

「それは



って考えててみたら？」

今回の話で参考にしたもの

○人権学習ワークシート集(小・中学校編 第16集)

神奈川県令和2年3月発行

○自分を受け入れるスヌーピー(株式会社 光文社)

チャールズ・M・シュルツ 著

谷川俊太郎 訳 柘野俊明 監修

今回もClassroomで皆さんと意見交換したいと思います。たくさんの方が今回の話を聞いて考えたことを教えてくれるとうれしいです。